

## 公共交通アンケート調査の集計結果について

このアンケートは、仙台市都市整備局公共交通推進課が、市政モニターのみなさまの協力のもとに実施し、187名の皆様から回答をいただきました。

ご協力いただいた市政モニターのみなさまに感謝申し上げます。

以下に、アンケートの結果をご報告します。

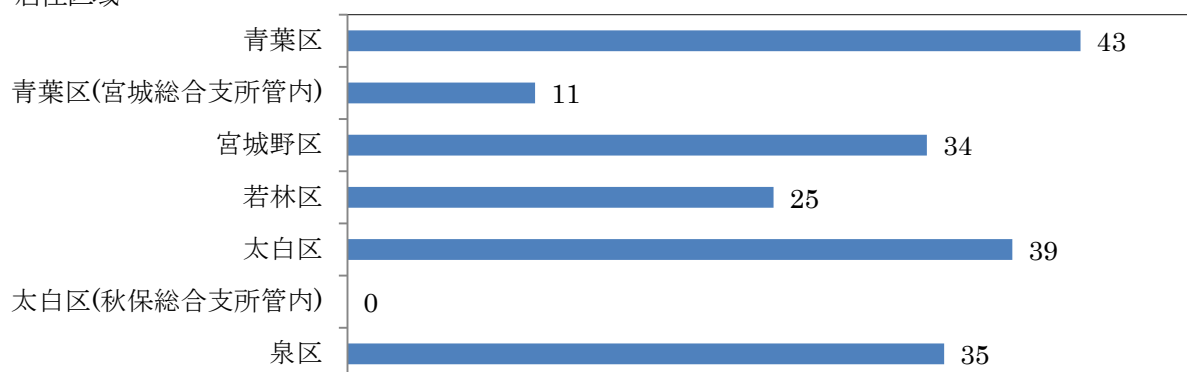
公共交通推進課

### 公共交通アンケート集計

#### 【回答者の属性等について】

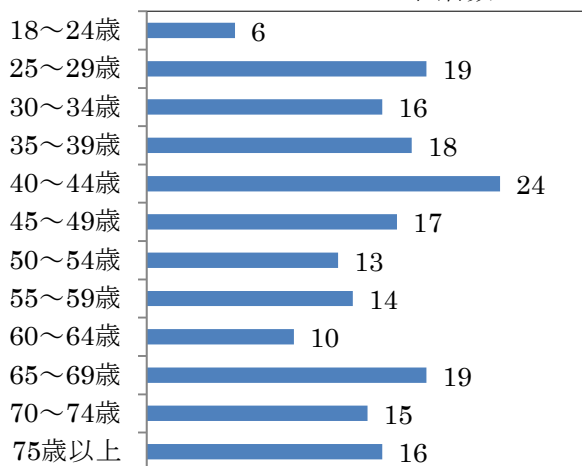
##### ① 居住区域

回答数 N=187



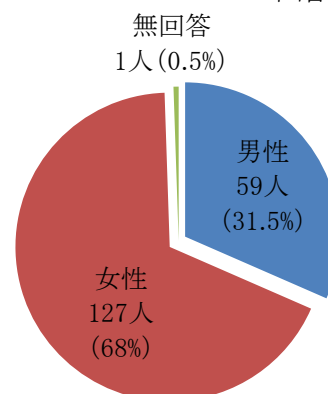
##### ② 年齢層

回答数 N=187



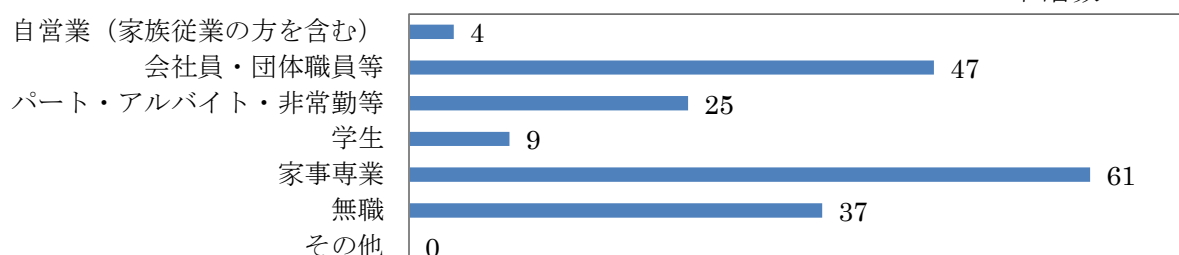
##### ③ 性別

回答数 N=187

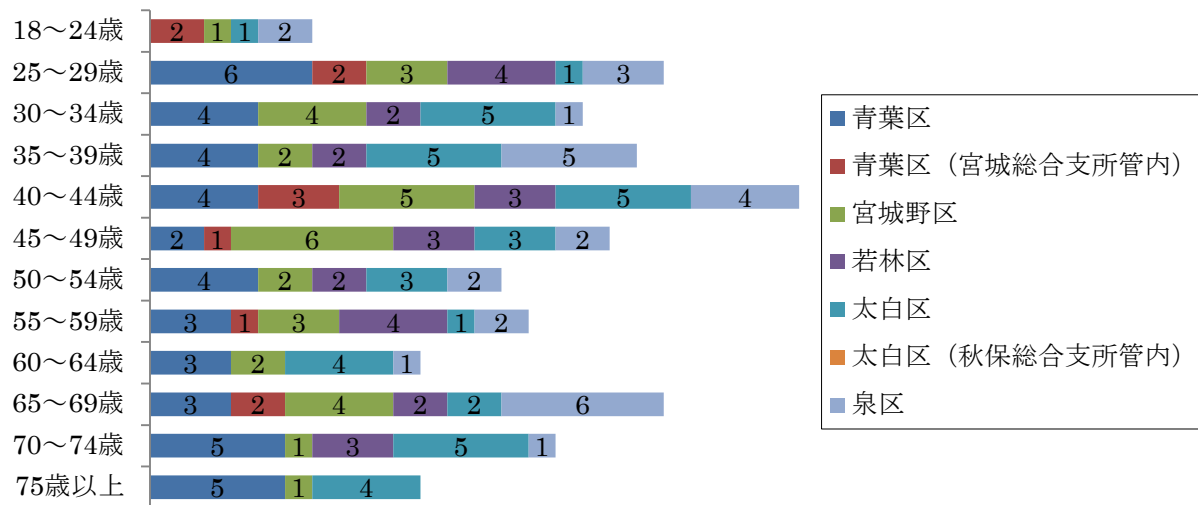


##### ④ 職業

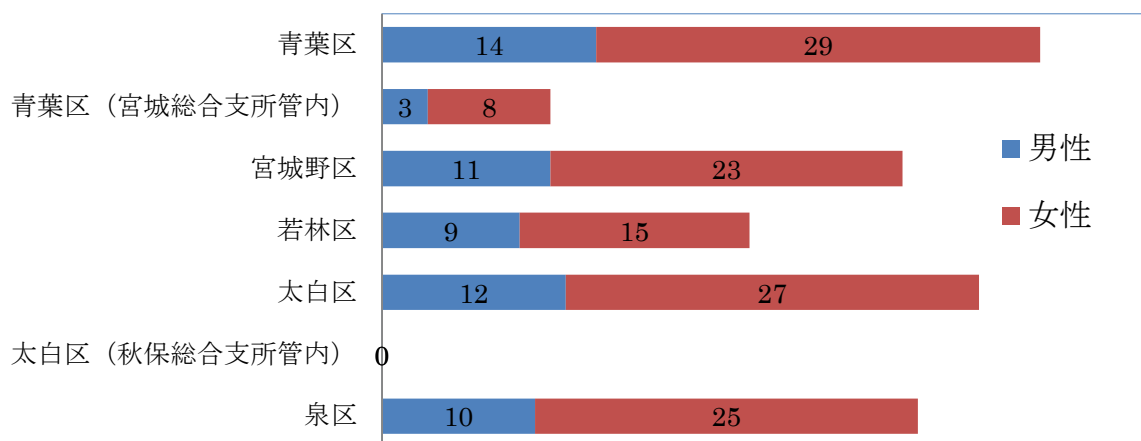
回答数 N=183



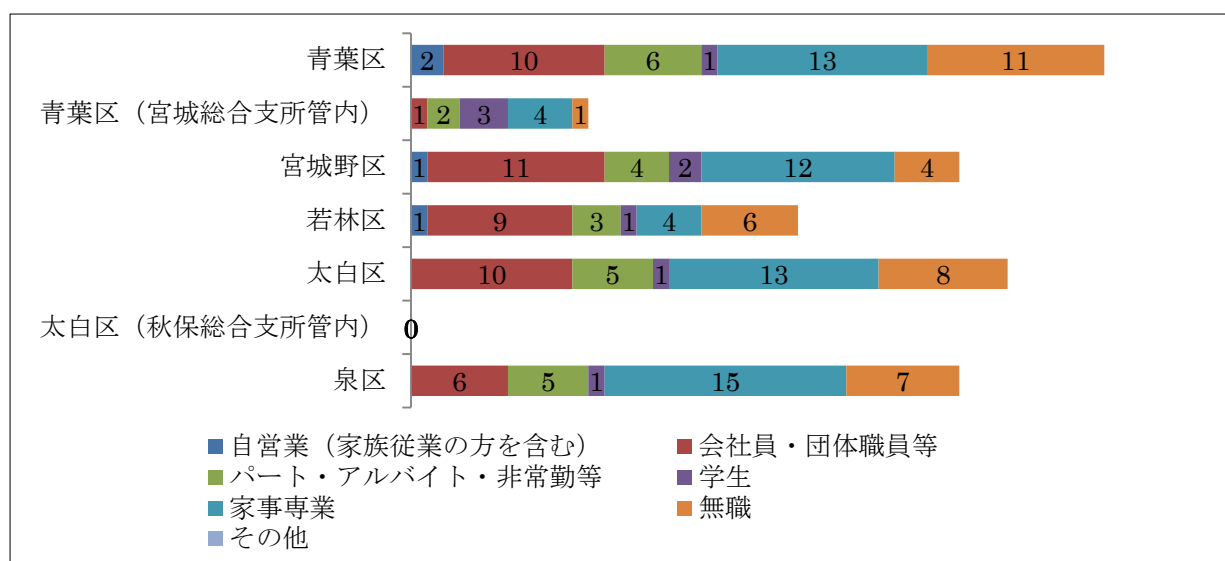
⑤ 年齢層と居住区域



⑥ 居住区域と性別



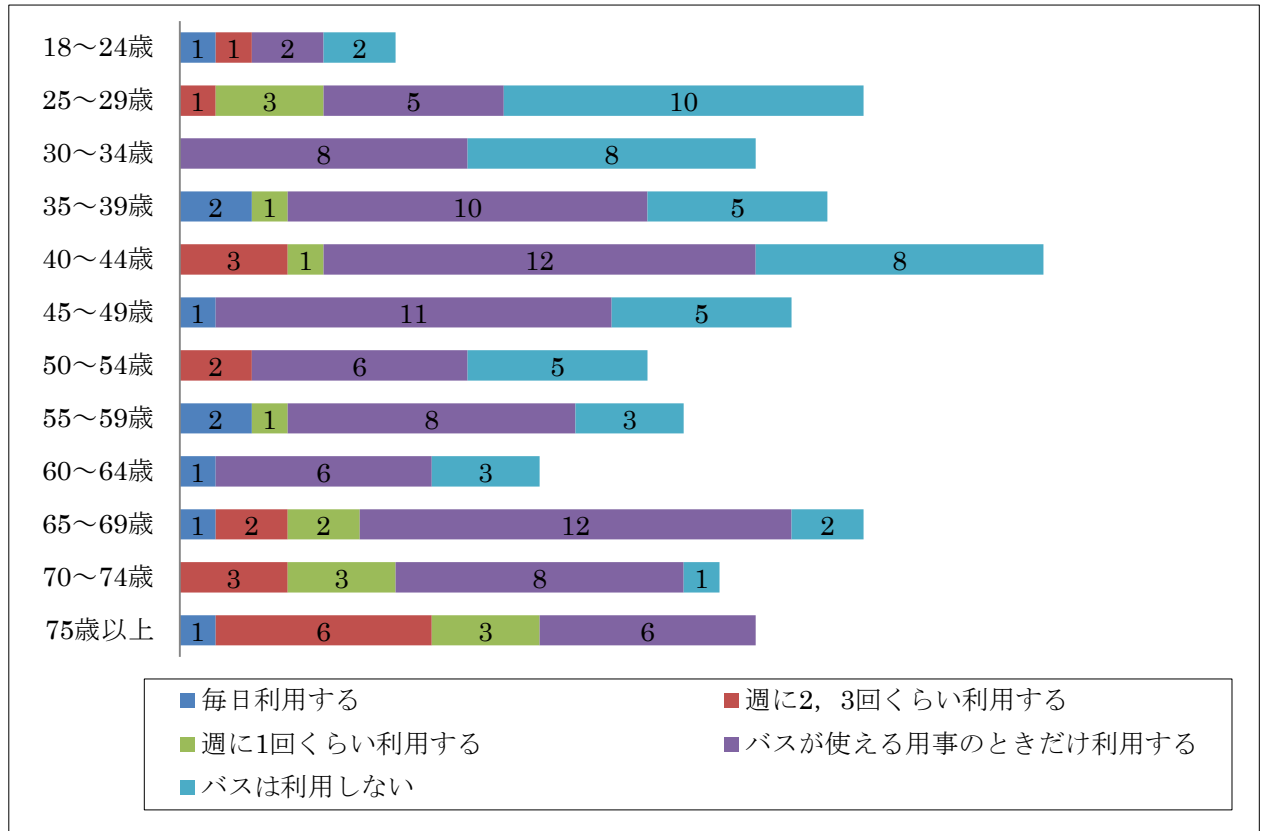
⑦ 居住区域と職業



# 1 バスサービスについて

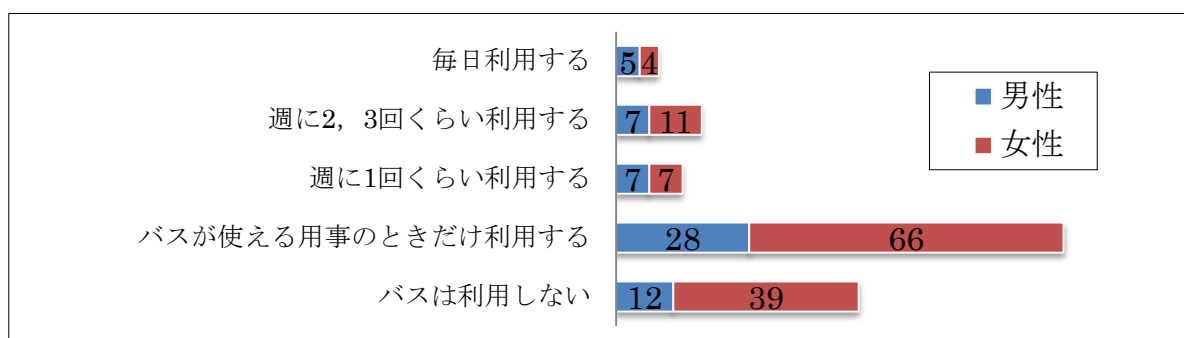
現在のバス路線が皆様にとってどの程度満足できるものとなっているかをお伺いする質問に回答していただきました。

## (1) 年齢層別のバスの利用頻度について



○バスを利用しないという回答は、20代後半から30代前半で特に高い傾向にあります。一方で、65歳以上の方は1割以下となっており、多くの方がバスを利用していることがわかります。

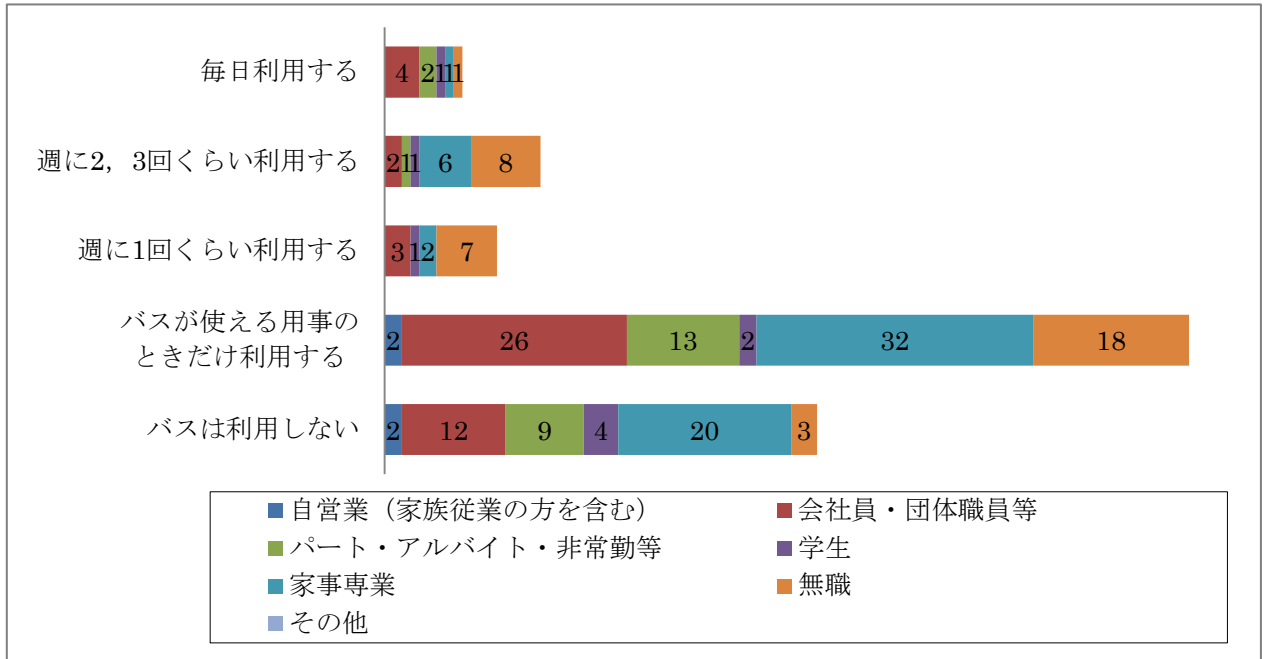
## (2) バスの利用頻度と性別について



○男性も女性も「バスが使える用事のみだけ利用する」という回答が最も多く、全体の約半数となっています。

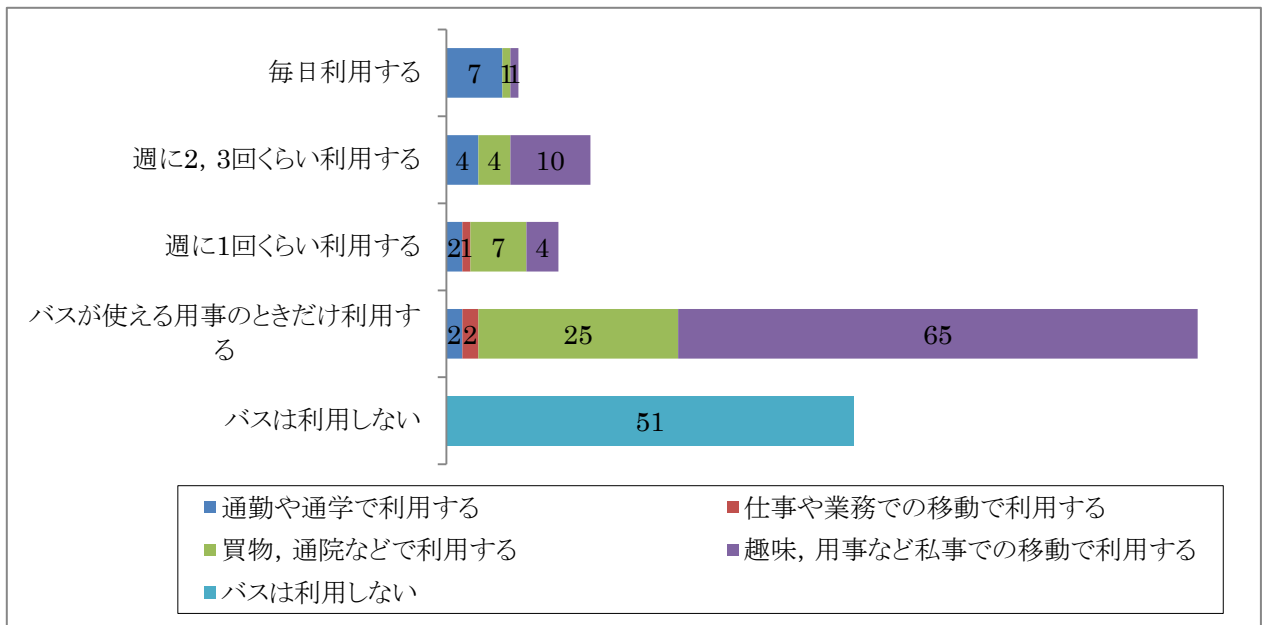
○「バスが使える用事のみだけ利用する」及び「バスは利用しない」という回答では、女性の比率が高い結果となっています。

### (3) バスの利用頻度と職業について



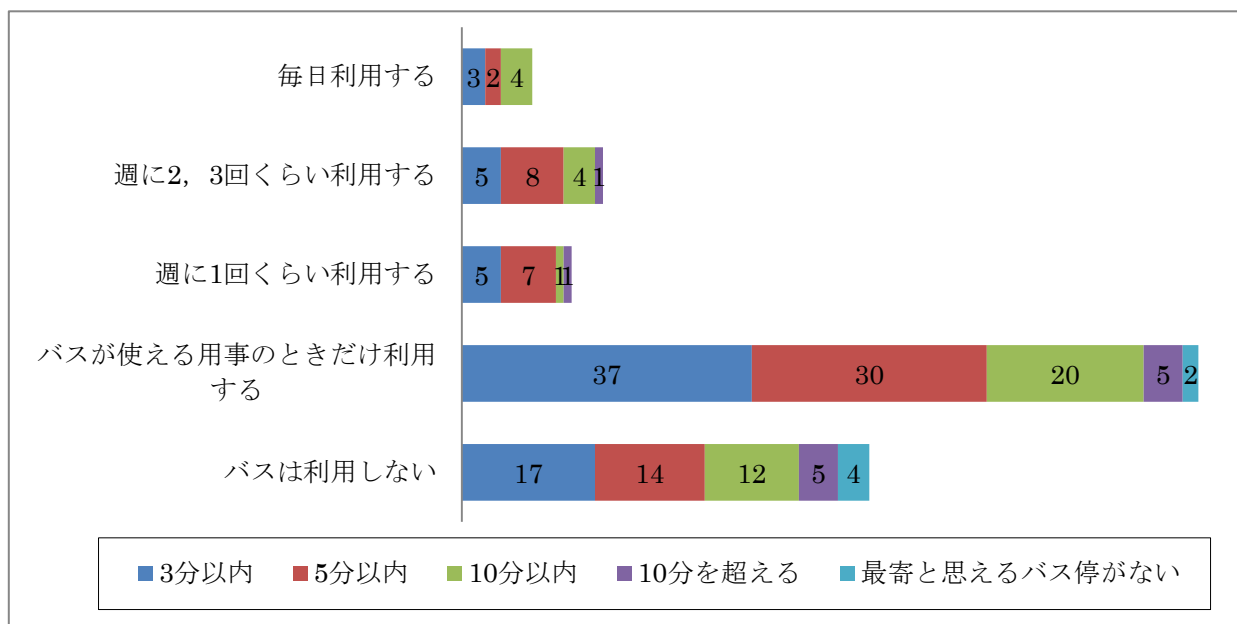
- 「バスを毎日利用する」との回答があった職業は、会社員等が多く、通勤での利用が多いと考えられます。
- 「バスが使える用事するときだけ利用する」との回答は全ての職業とも最も多く、バスとそれ以外の交通手段を使い分けていることもわかります。

### (4) バスの利用頻度と利用目的について



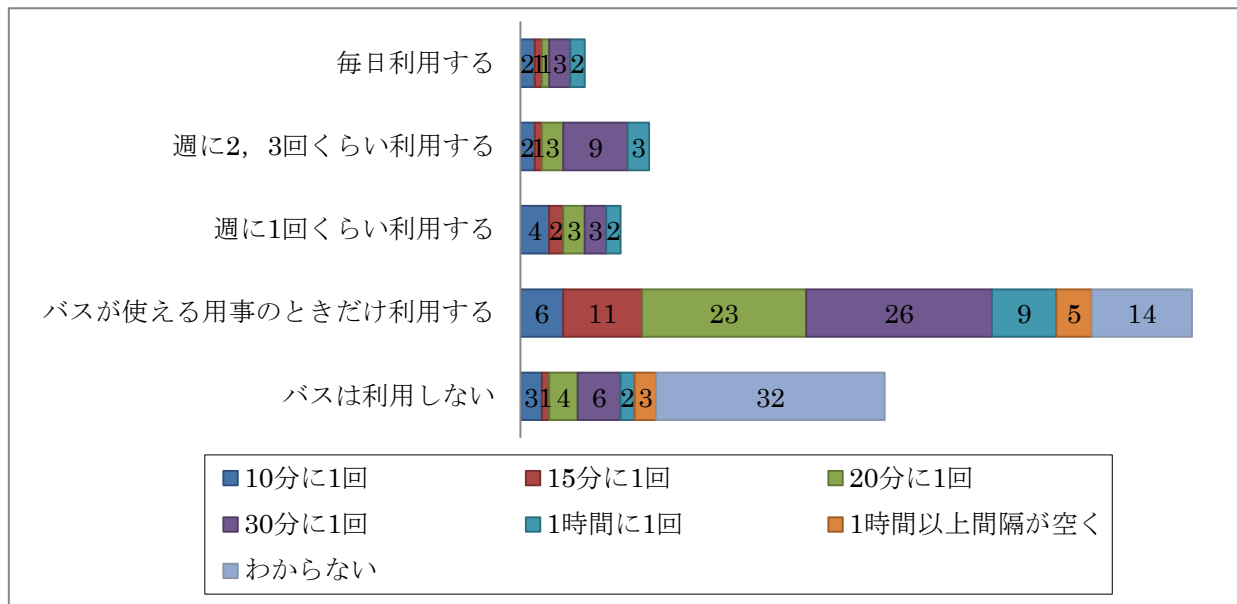
- 利用目的としては、「バスを毎日利用する」との回答では、通勤や通学が最も多く、「週2, 3回くらいバスを利用する」との回答では、買物や通院、趣味・用事など私事での移動で利用することが多いとの結果になりました。
- 「バスが使える用事するときだけ利用する」との回答では、趣味や用事など私事で移動するが最も多く、買物・通院などでの利用と合わせると9割を超える結果となっています。

(5) バスの利用頻度とバス停までの所要時間について



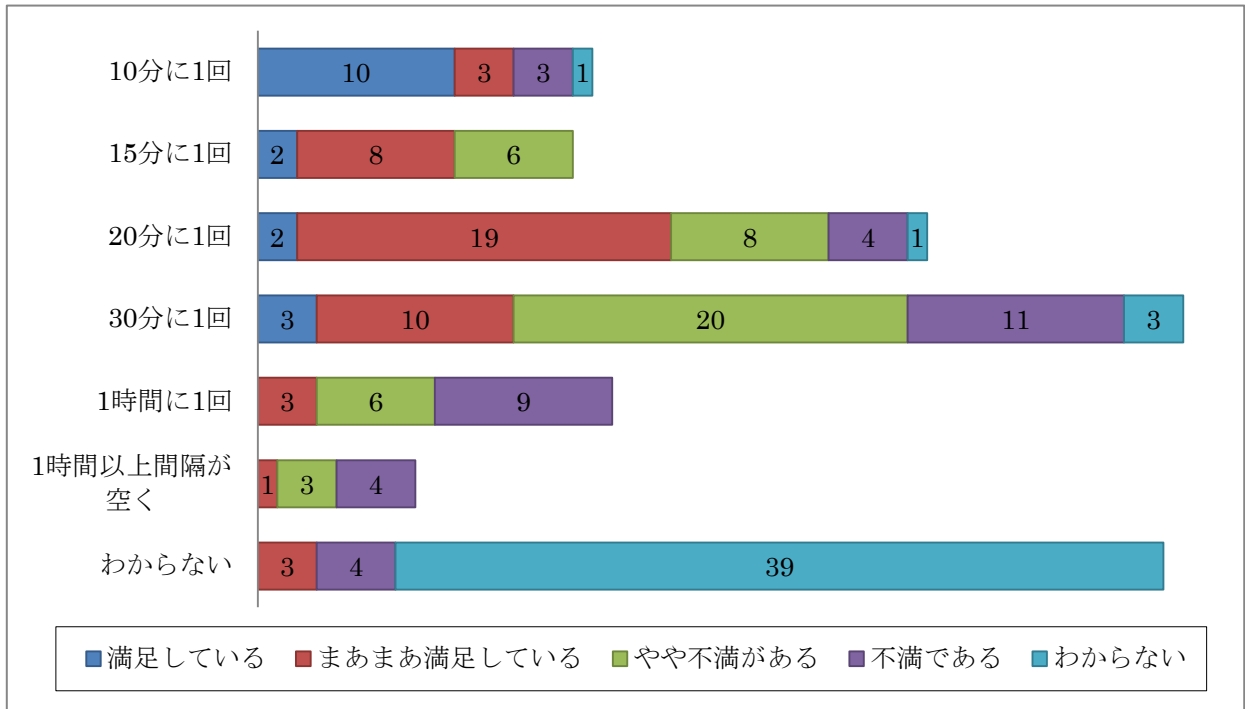
○バス停まで歩く時間が10分を超える場合、バスを利用する機会が少ないことがわかります。  
 ○バス停まで歩く時間を5分以内と回答した人は全体の約7割、10分以内と回答した人は全体の約9割となっています。

(6) バスの利用頻度と現在のバスの運行頻度について



○「バスが使える用事の時だけ利用する」及び「バスは利用しない」と回答した方の中には、バスの運行頻度についてわからないと回答した方がいることから、バスを利用頻度が低いほど運行頻度を認知していないことがわかります。

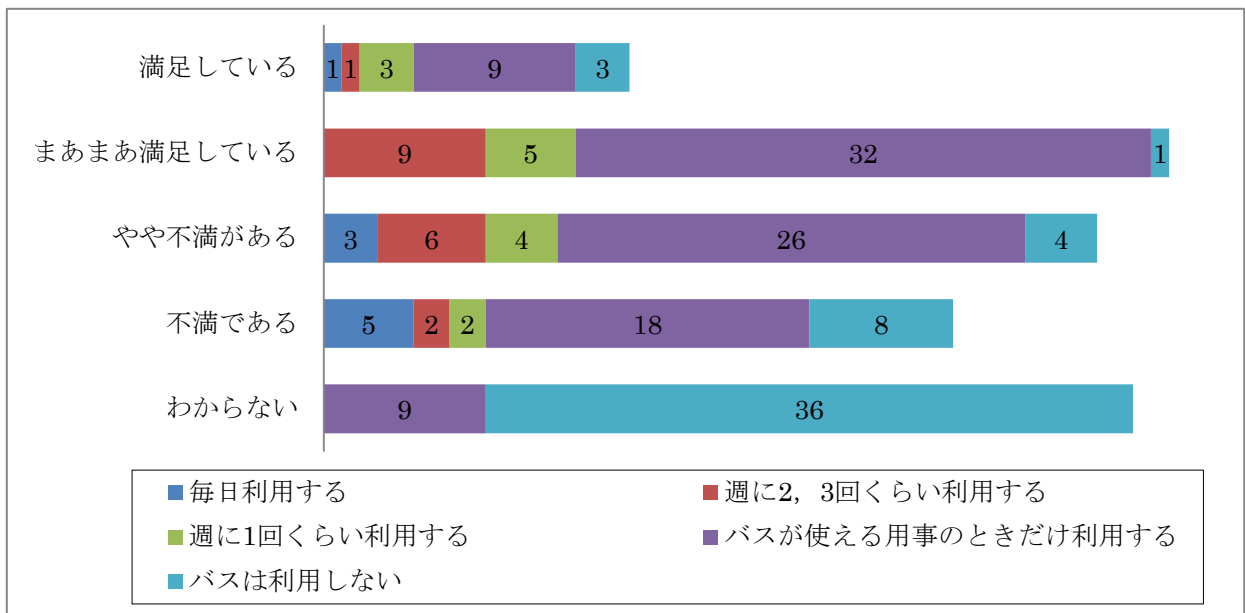
(7) 現在のバスの運行頻度と満足度について



○バスの運行頻度については約半数の方が満足しており、運行頻度が10分に1回の約7割、15分に1回の約6割の方が満足しているという結果となっています。

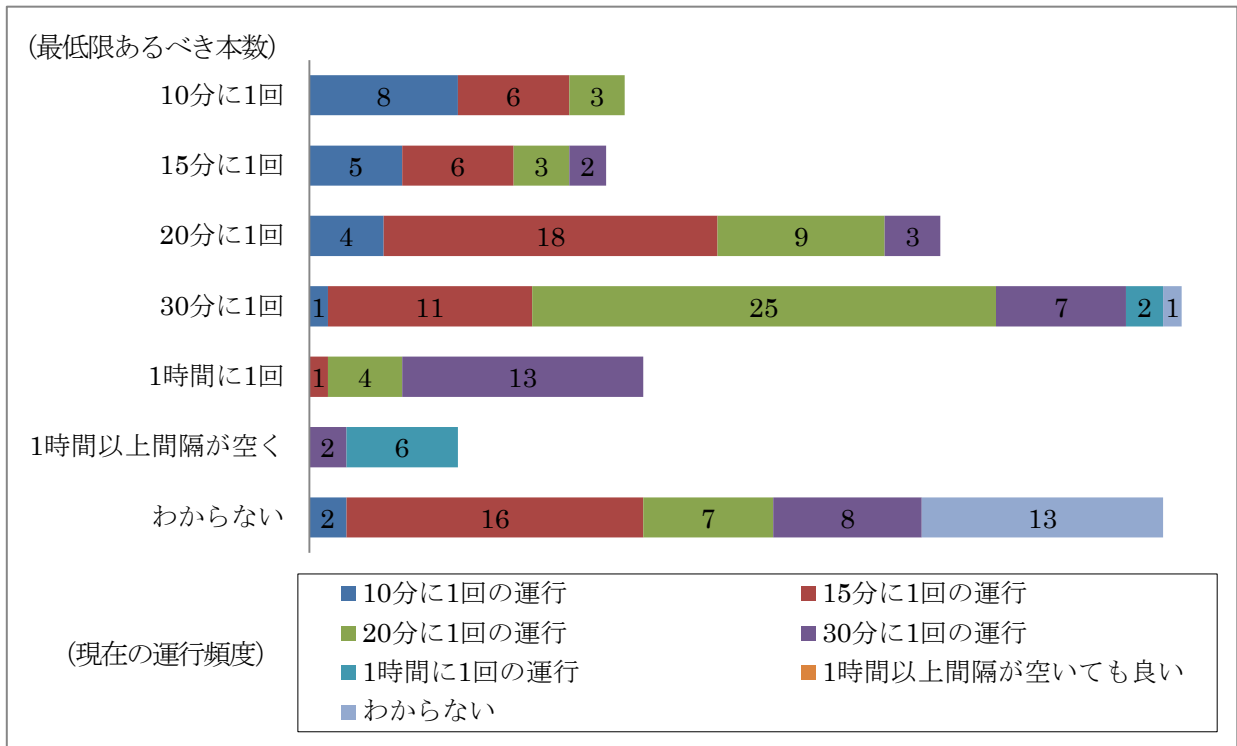
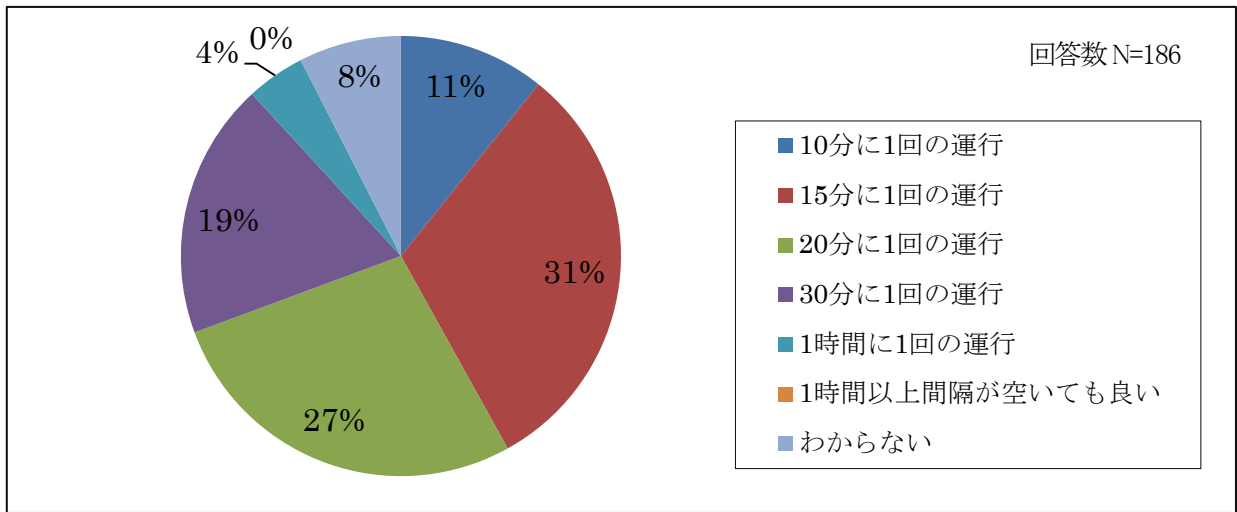
○バスの運行頻度が30分に1回より少ないと、約7割の方が不満を感じていることがわかります。

(8) バス利用頻度と運行頻度の満足度について



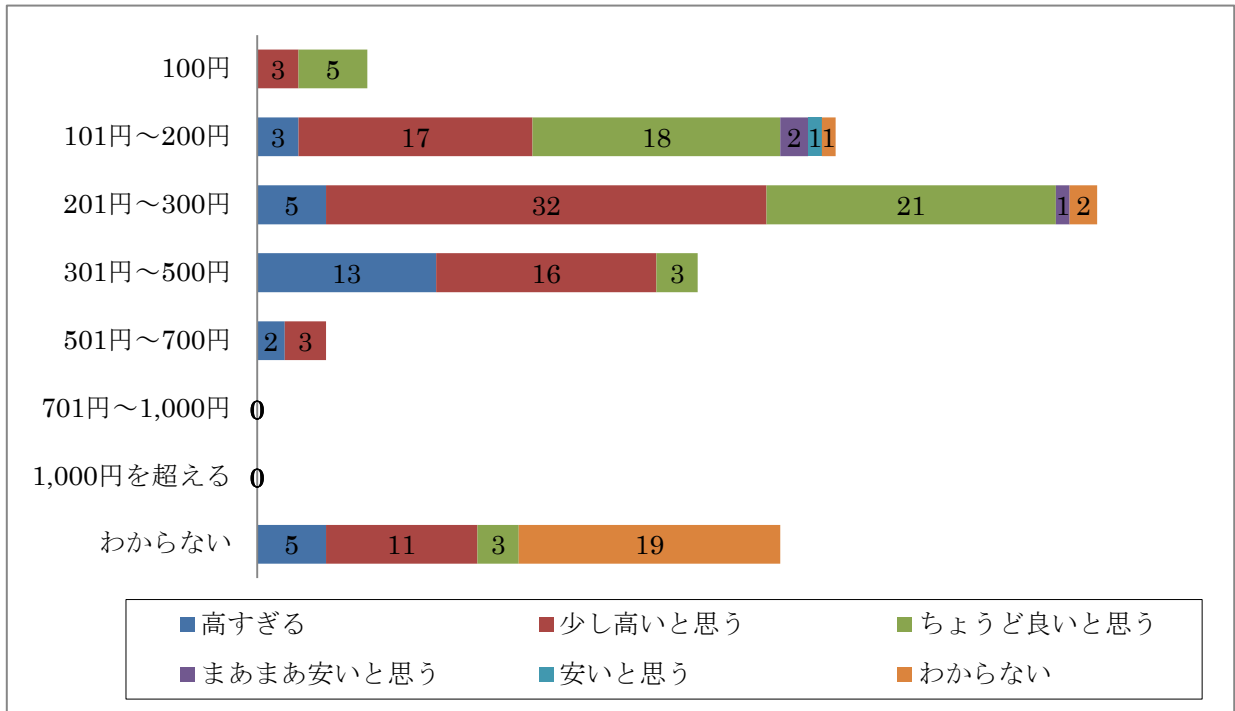
○バスの利用頻度と運行頻度の満足度の関係には明確な傾向は見られませんでした。

(9) バスの最低限あるべき運行について



- 最低限あるべき本数が、現在の運行頻度よりも短い間隔で運行した方が良いと感じている方がいる一方で、現在よりも運行間隔が空いても良いと感じている方がいることがわかります。
- 最低限の運行間隔として約9割の方が「30分に1回の運行」以上と感じていることから、バスを利用しやすい環境としては、30分に1回の運行が目安と考えられます。

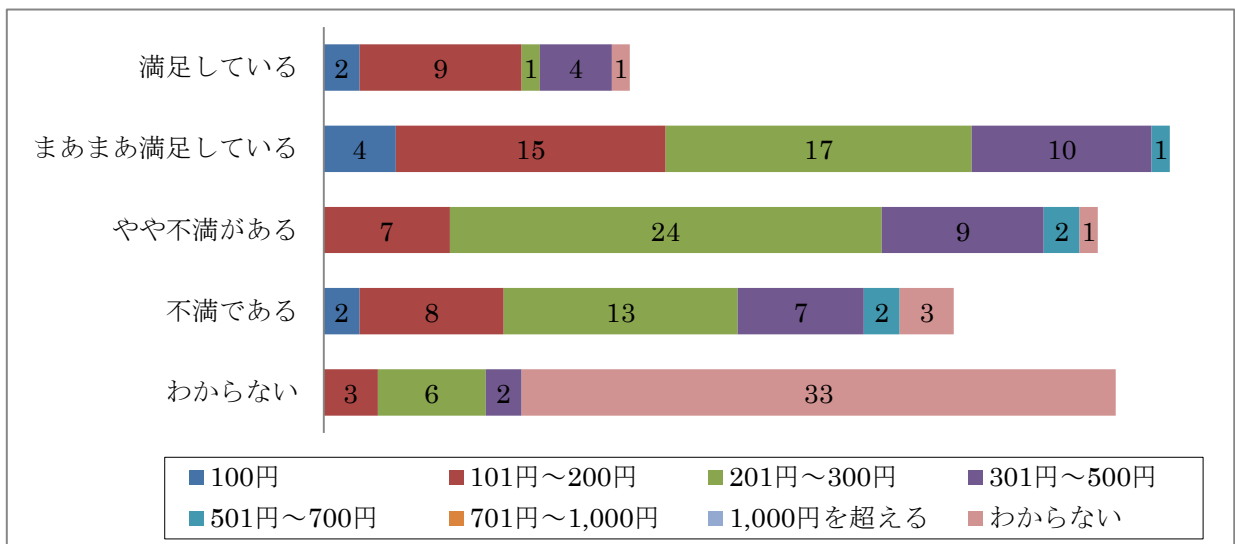
(10) バス運賃への評価



○現在の運賃が「101円～200円」である方のうち、4割を超える方が「ちょうど良いと思う」という結果となっています。

○現在の運賃が200円を超えると「高すぎる」、「少し高いと思う」という意見が増える傾向にあります。

(11) 現在のバス運賃とバス運行頻度への満足度

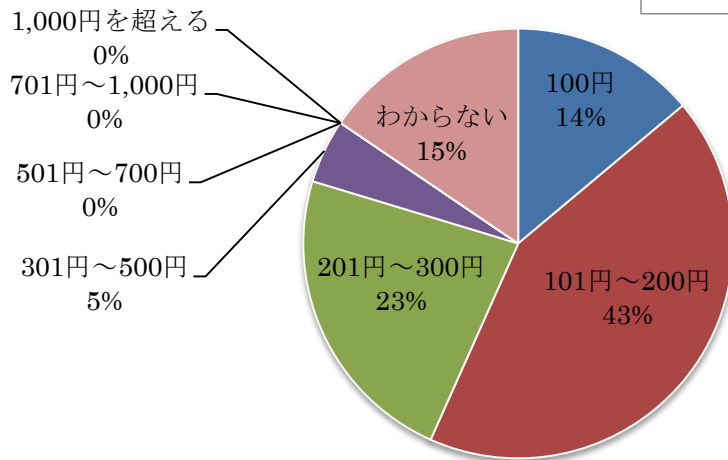


○(10)では「バス運賃が高い」と不満を持つ回答が幅広くみられましたが、それでも、バスの運行頻度には満足している人が半数以上いることがわかります。



(12) 望ましいバス運賃

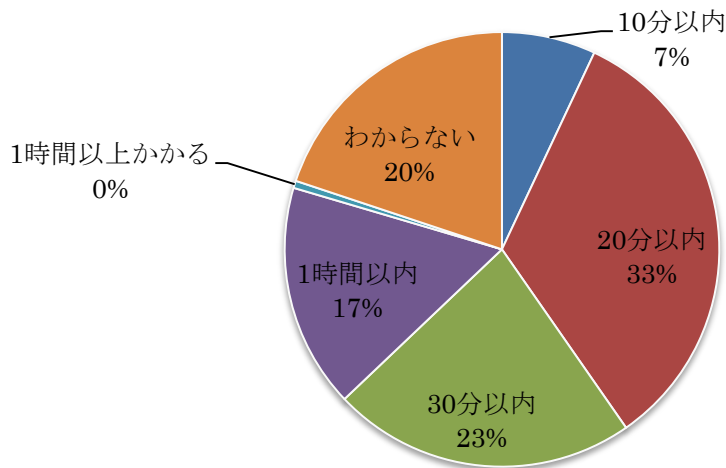
回答数 N=187



○200円以下の運賃が望ましいと回答している方が半数以上いることがわかります。  
○望ましい運賃を300円以内と回答した方は全体の約8割となっています。

(13) バスの乗車時間

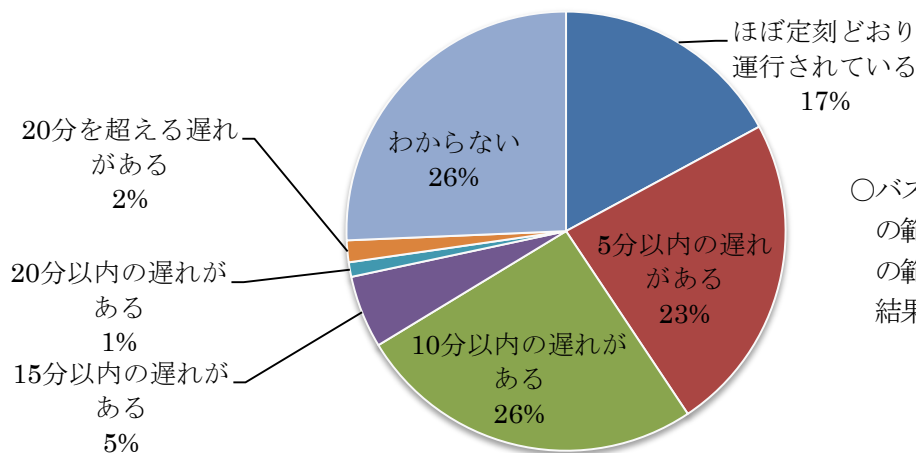
回答数 N=186



○全体の約6割の方が、乗車時間30分以内ということがわかります。

(14) バスの遅延状況

回答数 N=187

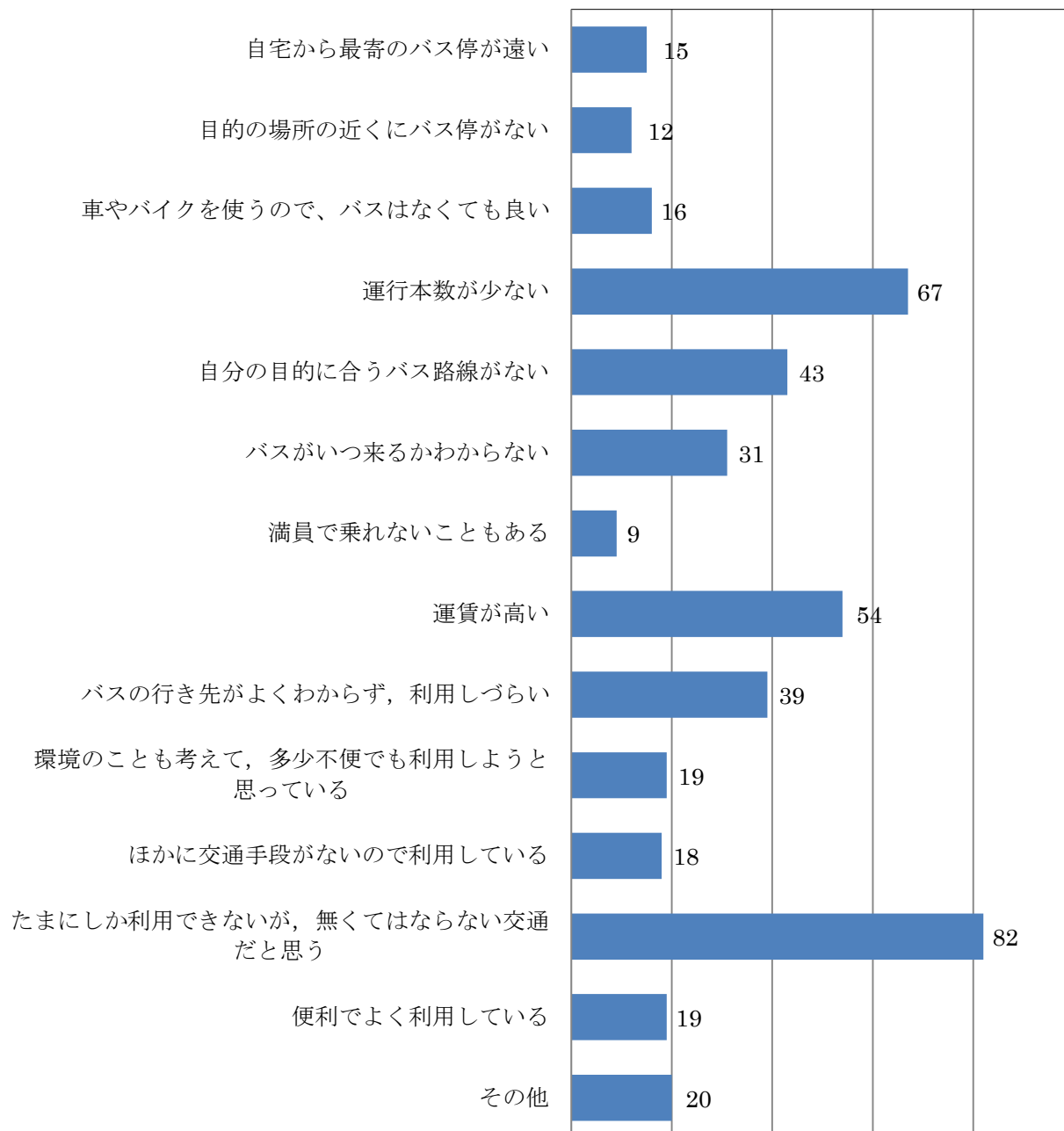


○バスの運行の遅れは5分以内の範囲内が約4割、10分以内の範囲になると6割を超える結果となっています。

### (15) 日頃のバスサービスについて感じる意見

設 問：「現在のバスについて、普段どのように感じていますか？」

(※3 つまで選択可) 回答数N=444 (187 人)

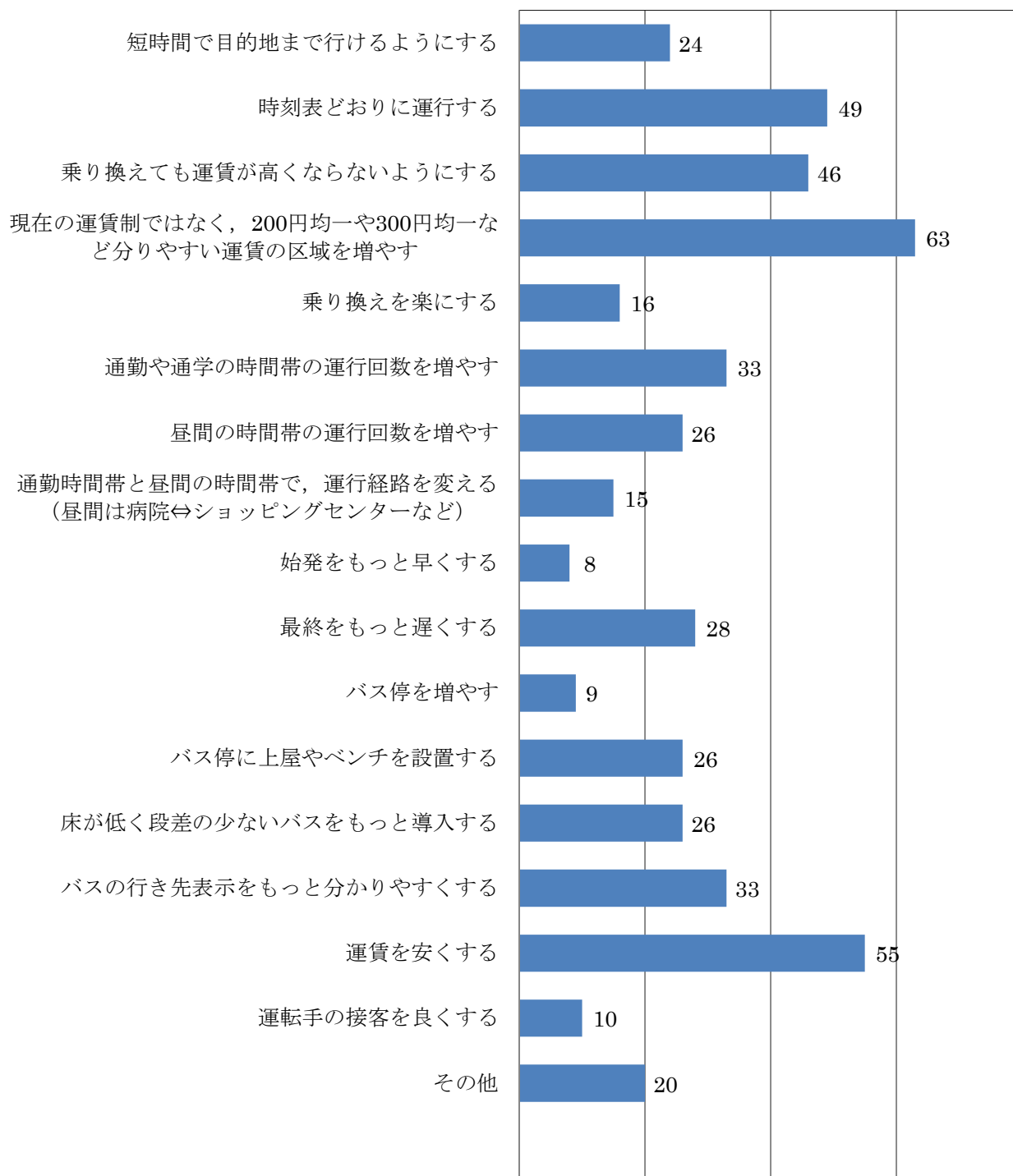


- 「たまにしか利用できないが、無くてはならない交通」と感じている方が最も多く、次いで「運行本数が少ない」「運賃が高い」と感じている方が多いことがわかります。
- 「自分の目的に合うバス路線がない」「バスの行き先がよくわからず、利用しづらい」と路線や行き先についての意見も多い結果となっています。

(16) バスサービスの改善点などに関する意見

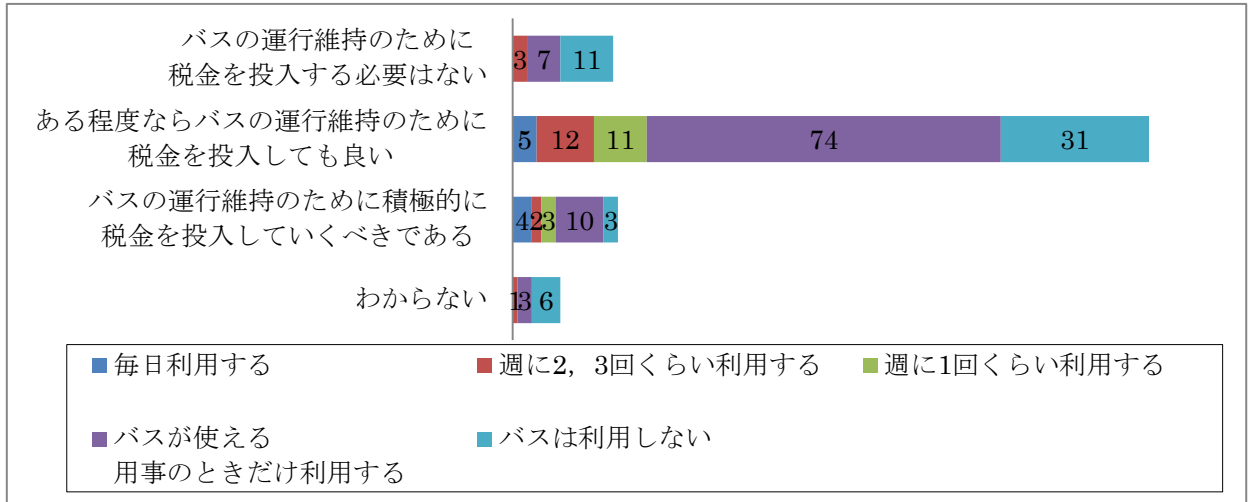
設 問：「バスのサービスが、どうなったらもっと利用しやすくなると思いますか？」

(※3 つまで選択可) 回答数N=487 (187 人)



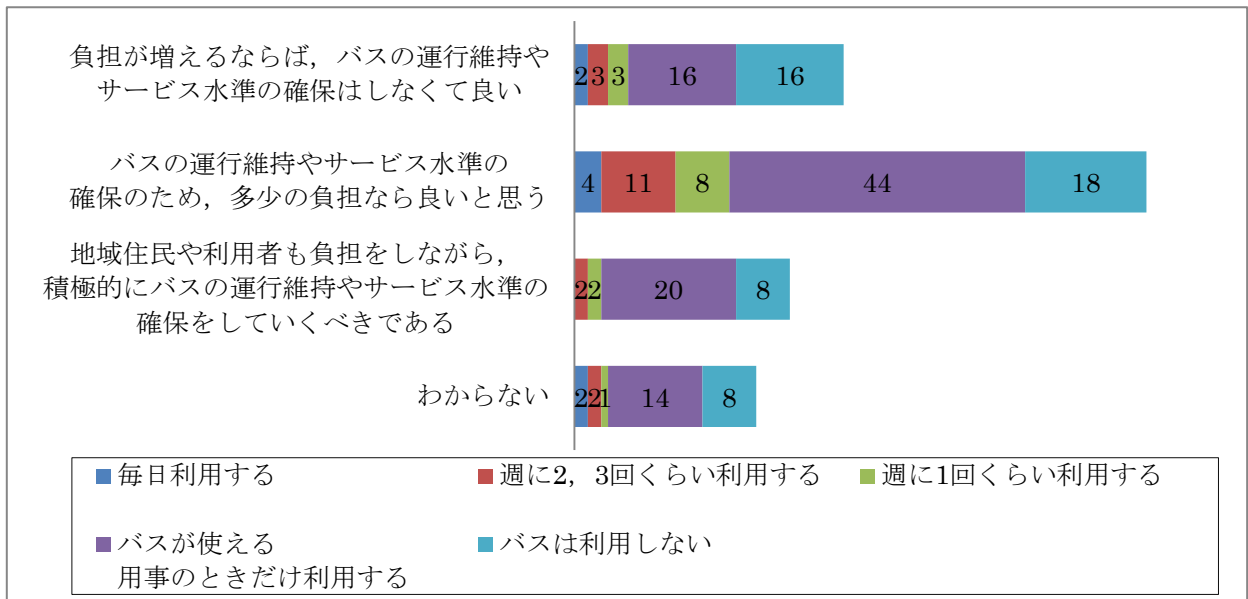
- 「〇〇円均一といったわかりやすい運賃の区域を増やす」と回答した方が最も多く、次いで「運賃を安くする」と回答した方が多くいました。
- 「時刻表どおりに運行する」「乗り換えても運賃が高くなるようにする」を選んだ方も多く、運賃についての意見が多いことがわかります。

**(17) バスの運行維持のために税金を投入することへの意見**



○「ある程度ならバスの運行維持のために税金を投入しても良い」や「バスの運行維持のために積極的に税金を投入していくべきである」との税金を投入することへ肯定的な意見が全体の約8割で、バスをよく使う方だけでなく、普段バスを利用しない方からも支持されています。

**(18) バスのサービスを確保するために住民が運行費用を負担していくことへの意見**



○バスの運行維持に必要な運行費用を住民が負担して支えていく考え方については、「多少の負担ならば良い」とする意見が、普段バスを利用しない方も含め支持されています。

○「多少の負担なら良い」と「地域住民や利用者も負担をしながら、積極的にバスの運行維持やサービス水準の確保をしていくべき」との肯定的な意見が6割を超えています。

**ま と め**

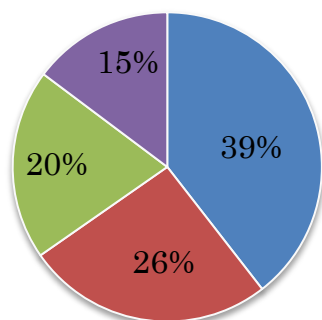
- ・利用者が最低限の運行頻度として少なくとも30分に1回程度を求めていることがわかります。
- ・運賃は、概ね300円以内で、均一運賃などのわかりやすい制度が求められていることがわかります。
- ・バスの運行維持やサービス水準の確保の観点では、「税金」を投入することについて、支持する意見が多くみられ、住民（利用者）の負担が発生するとした場合についても、肯定的な意見が比較的多くみられました。

## 2 ICカード乗車券「icsca（イクスカ）」について

公共交通機関の利用やICカード乗車券に関する質問に回答していただきました。

### (1) 日頃利用する公共交通機関の種類

(※該当項目すべて選択可)回答数N=271(187人)

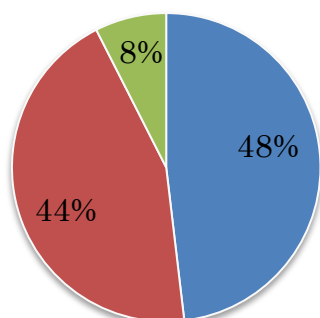


- 地下鉄を利用する
- バスを利用する
- JRを利用する
- あまり公共交通機関は利用したことはない

○8割を超える方が日頃公共交通機関を利用し、約4割が地下鉄を利用していることがわかります。

### (2) icscaの認知度

回答数N=187

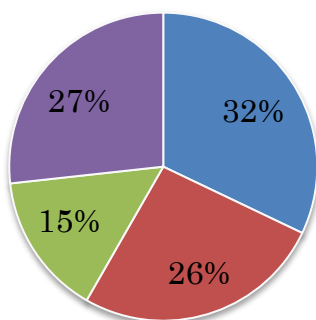


- 知っていて、使用したことがある
- 知っているが、使用したことはない
- 知らない

○icscaについて9割を超える方が知っており、半数近くが使用したことがあることから、認知度は高いことがわかります。

### (3) 日頃利用する交通系ICカード乗車券などの種類

回答数N=187



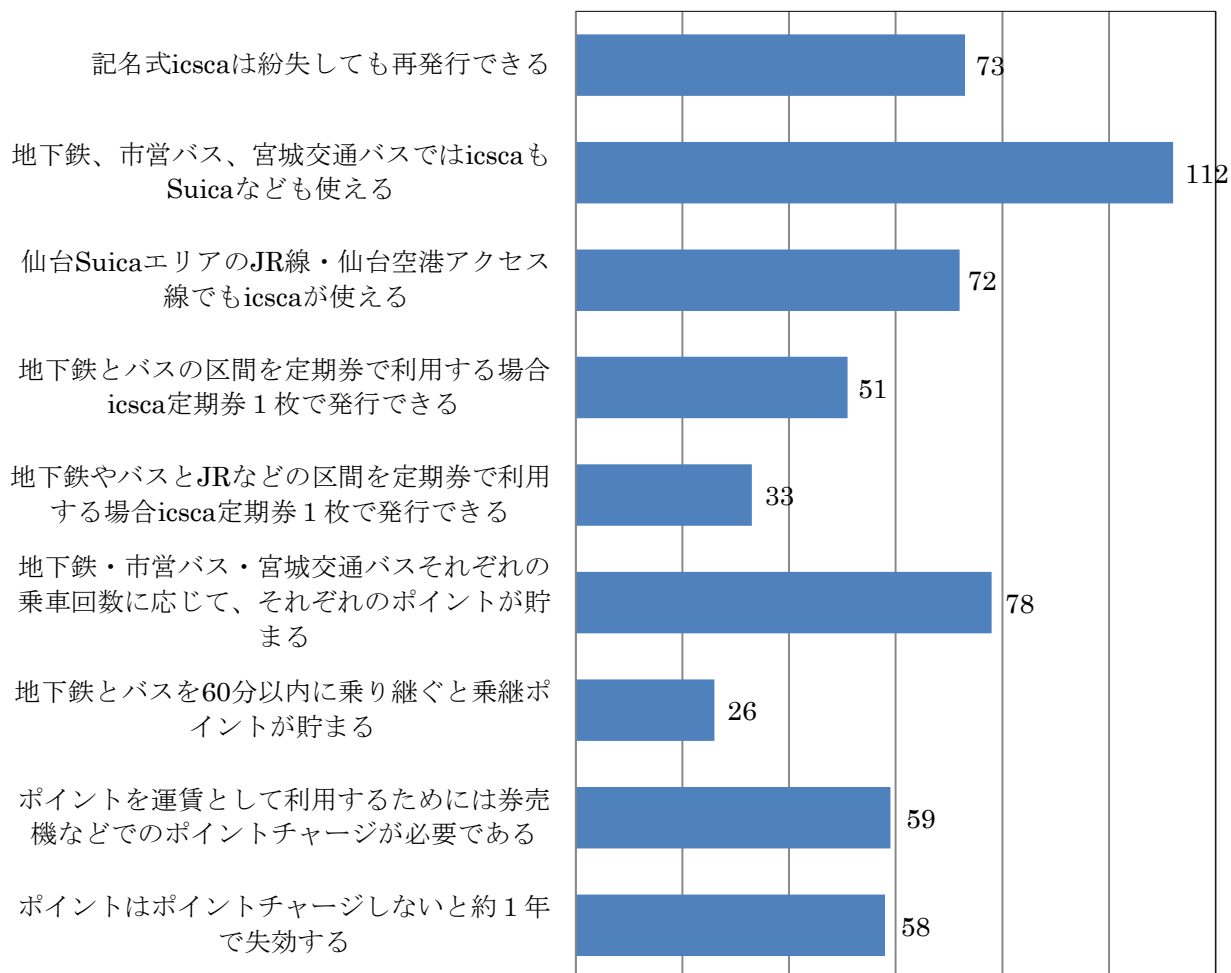
- 主にicscaを利用する
- 主にicsca以外の交通系ICカード乗車券(Suicaなど)を利用する
- 敬老乗車証やふれあい乗車証を利用する
- 利用しない

○日頃交通系ICカード乗車券を利用している方は半数を超え、約3割の方が主にicscaを利用していることがわかります。

○敬老乗車証を利用している割合と、本調査での70歳以上の方の割合がほぼ同数であることから、ICカードの敬老乗車証の利用が定着していると考えられます。

#### (4) IC乗車券icscaの各種サービスや制度等についての認知度

(※知っている項目すべて選択可) 回答数N=562 (187人)



○「地下鉄、市営バス、宮城交通バスではicscaもSuicaなども使える」については約6割の方が知っており、最も多く認知されていましたが、「仙台SuicaエリアのJR線・仙台空港アクセス線でもicscaが使える」を知っていると回答した方は約4割と差があることがわかります。

○昨年度はほぼ認知されていなかった「地下鉄とバスを60分以内に乗り継ぐと乗継ポイントが貯まる」については、今年度は約1割の方が認知しています。

#### まとめ

- ・ IC乗車券icscaの認知度が9割ということから、その存在が定着していることがわかります。
- ・ 各種サービスや制度等については認知度は、多くの項目で半数を下回っていることから、今後更に情報発信が必要であることがわかります。